

エコアクション21

2024 年度 環境経営レポート

対象期間：2024年1月1日～12月31日

株式会社コスモ・サイエンス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号

TEL 0463-51-2031

FAX 0463-51-2034

<http://www.cosmo-science.co.jp/>

E-mail: info@cosmo-science.co.jp

発行：2025年4月4日

— 会社概要 —

(1) 名称

株式会社コスモ・サイエンス

(2) 所在地

(本社) 〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号

(田村工場) 〒254-0013 神奈川県平塚市田村2丁目3番22号

(3) 代表者

代表取締役社長 武藤 泰和

(4) 環境管理責任者

総務経理グループ部 担当課長 久保田 史朗

TEL 0463-51-2031

FAX 0463-51-2034

(5) 事業内容

真空及び一般装置設計・製作、真空及び一般装置受託製造、真空及び一般装置修理・改造・移設、各種配管設計・施工、部品加工・販売

(6) 事業規模等

1) 資本金：1,000万円

2) 売上高：13億61百万円(2024年1月～2024年12月)

3) 従業員：75名(対象範囲)2024年12月末現在

(対象範囲は本社とする。製造部裾野事業所は顧客の工場に常駐し、同工場はISO-14001認証を取得しその指導下で活動をしている為、EA21登録範囲から除く。)

4) 敷地面積(本社) : 3,710m²

(田村工場) : 610 m²

5) 延床面積(本社) : 2,835 m²

(田村工場) : 1,220 m²

6) 事業年度 : 1月～12月

7) 実施及び運用期間 : 2024年1月～2024年12月

—環境経営方針—

株式会社 コスモ・サイエンスは、真空装置を主とした
製品・サービスの提供を通して社会に貢献するとともに
地球環境保全に配慮し
全社を挙げて継続的に環境負荷の低減に取り組みます

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を把握し、CO2 排出量、廃棄物を主とした環境負荷の低減に努めます。
2. 環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を遵守します。
3. 環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
4. 環境経営レポートを作成し、公表します。

2024 年 3 月 8 日改訂

株式会社 コスモ・サイエンス

代表取締役 武藤 泰和



— 環境経営目標 —

2025年4月4日

取組項目	基準年	年次目標		
	【2010～11年度】 2010年7月 ～ 2011年6月	【2024年度】 2024年1月 ～ 2024年12月	【2025年度】 2025年1月 ～ 2025年12月	【2026年度】 2026年1月 ～ 2026年12月
(1) 二酸化炭素排出量の削減				
1) CO2 の削減	基準年度実績 194,735kg-CO2	基準年度同月比 14 %削減 売上高比	基準年度同月比 15 %削減 売上高比	基準年度比 16 %削減 売上高比
2) 電力使用量の削減	基準年度実績 464.113 kWh	基準年度同月比 14 %削減 売上高比	基準年度同月比 15 %削減 売上高比	基準年度比 16 %削減 売上高比
3) ガソリン使用量の削減	基準年度実績 7,742 ㍓	基準年度同月比 14 %削減 売上高比	基準年度同月比 15 %削減 売上高比	基準年度比 16 %削減 売上高比
4) 軽油使用量の削減	基準年度実績 1,231 ㍓	基準年度同月比 14 %削減 売上高比	基準年度比 15 %削減 売上高比	基準年度比 16 %削減 売上高比
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び抑制・削減 (目標設定)				
3) 一般廃棄物	2014年基準設定 2400 kg	基準年度比 11 %削減 売上高比	基準年度比 12 %削減 売上高比	基準年度比 13 %削減 売上高比
4) 産業廃棄物	2020年基準値見直 22,118kg	基準年度比 6%削減 売上高比	基準年度比 7%削減 売上高比	基準年度比 8 %削減 売上高比
(3) コピー用紙使用量の適切な管理及び抑制・削減				
コピー用紙購入量の削減	2014年基準値見直 240,000 枚 (A4 換算)	基準年度同月比 14%削減 売上高比	基準年度同月比 15 %削減 売上高比	基準年度同月比 16 %削減 売上高比
(4) 水道使用量の適切な管理及び抑制・削減				
水道使用量の抑制・削減	2014年基準値設定 600 m ³	基準年度比 11 %削減 売上高比	基準年度比 12 %削減 売上高比	基準年度比 13 %削減 売上高比
(5) 有害化学物質の使用量「0」				
(6) 製品・サービス (環境負荷の少ない梱包推進、使用量の削減)				
梱包材使用量の削減	2014年基準値設定 720 kg	基準年度比 11 %削減 売上高比	基準年度比 12 %削減 売上高比	基準年度比 13 %削減 売上高比

— 環境経営計画 —

(1) 二酸化炭素排出量の削減

1) 購入電力の抑制

- ・ピークデマンドモタリソグ機器（2器）の活用により節電に努める。
- ・空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃を目処に）に努める。
- ・空調を必要な区域、時間に応じて調整する。
- ・照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を進める。

2) 自動車燃料の使用量の節約及び燃費の改善（エコドライブの推進）

- ・ふんわりアクセル
- ・加減速の少ない運転
- ・早めのアクセルオフ 等

(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 廃棄物分別の徹底と計量の実施

- ・一般廃棄物の適切な管理。
- ・産業廃棄物の適切な管理。

2) コピー用紙購入量の削減

- ・裏紙を積極的に利用する。
- ・両面コピーを活用する。
- ・電子化を推進する。

(3) 水道使用量の把握

- ・使用量を把握し、異常値などの早期確認と節水の推進をする。

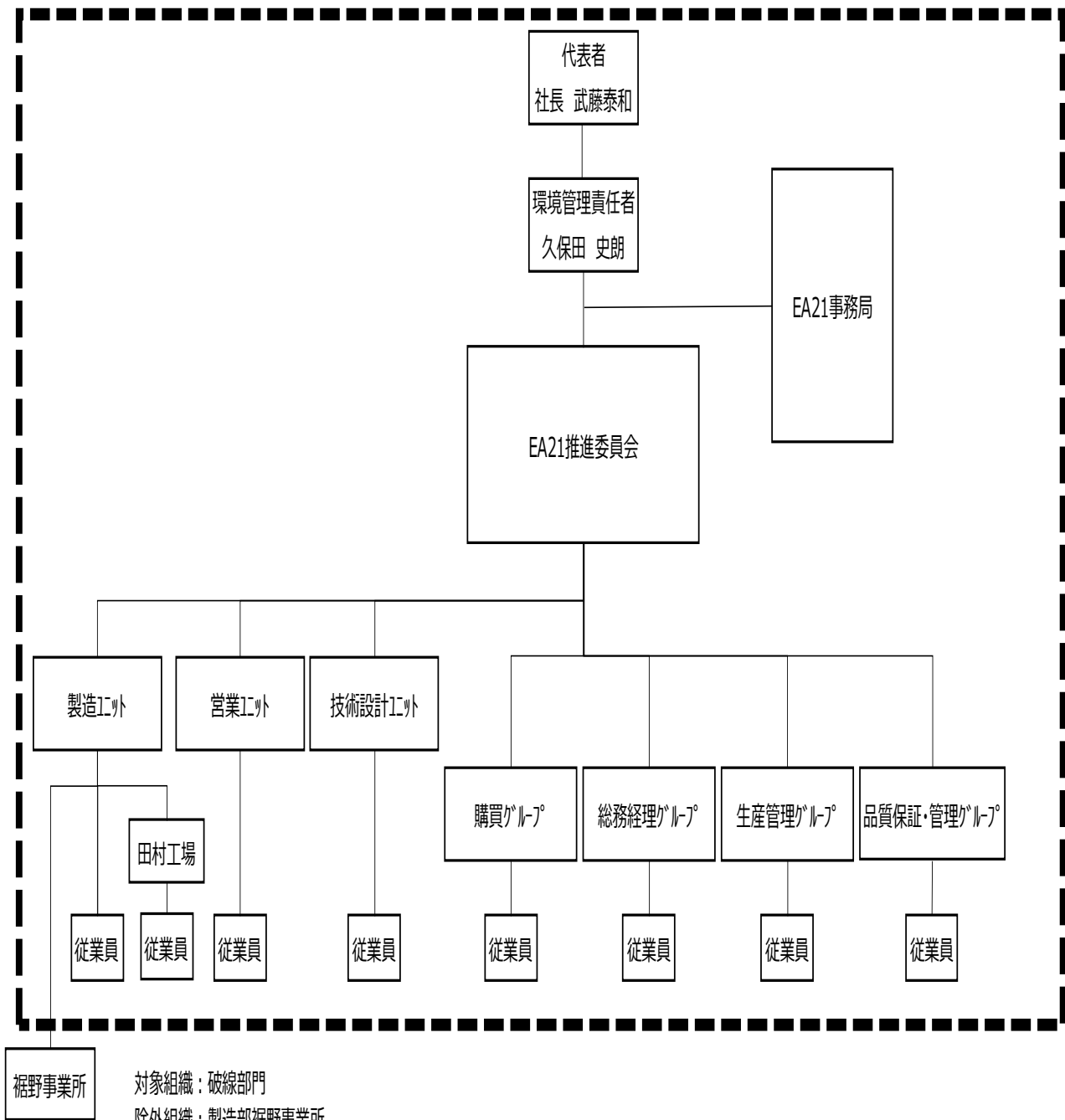
(4) 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

- ・化学物質の適切な管理を実行する。
- ・有害化学物質使用量の抑制を行う。

(5) 環境負荷の少ない梱包の実施

- ・発注量をモタリソグして、使用量の抑制を推進する。

—環境経営システム組織図—



※2024年10月時点組織図

— 環境経営システム 役割・責任・権限表 —

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 ・環境経営目標の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの作成、公開 ・環境経営レポートの確認 ・環境経営レポートの地域事務局への送付 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21 推進委員会の事務局 ・環境活動の実績集計 ・環境管理責任者の補佐
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの公開 (社外向けホームページへの掲載) ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

— 2024年1月～12月の環境経営目標と実績とその評価 —

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 目標：電力使用量(kWh)の削減 基準年度比14%削減 (累計値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	41319	85458	120557	156179	185839	214591	262375	310351	351497	393122	427096	464113
目標値	35534	73494	103679	134314	159822	184548	225643	266902	302287	338085	367303	399137
原単位実績値	16810	36543	51374	68899	84816	97388	115010	130940	147311	166424	180590	196378
目標値比	-53%	-50%	-50%	-49%	-47%	-47%	-49%	-51%	-51%	-51%	-51%	-51%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	(冬季) ・エアコン設定温度 20℃ ・照明、適切な on-off			・照明、適切な on-off			(夏季) ・エアコン設定温度 28℃(事務所) 25℃(事務所以外) ・照明、適切な on-off ・遮光遮熱シート取付 (2階事務所) ・ヒートデマンド管理			(冬季) ・エアコン設定温度 20℃ ・照明、適切な on-off ・ヒートデマンド管理		
評価	省エネ活動の実施により、通年で単月・累積共に目標達成した。 引き続き、従業員全員による省エネ活動を継続していく。											

2) 目標：ガソリン使用量(リットル)の削減 基準年度比13%削減(近距離・遠距離の区分廃止)
(累計値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	529	1,198	1,973	2,546	3,130	3,696	4,280	4,894	5,632	6,153	6,866	7,742
目標値	202	458	754	973	1,196	1,413	1,636	1,871	2,153	2,352	2,624	2,959
原単位実績値	118	204	284	348	448	555	655	717	798	879	956	1,036
目標値比	-42%	-55%	-62%	-64%	-63%	-61%	-60%	-62%	-63%	-63%	-64%	-65%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。											
評価	単月、累積の共に目標値を達成した。 Web会議活用による、外出・出張回数削減の効果があつたと評価する。											

3) 目標：軽油使用量(リットル)の削減 基準年度比14%削減 2018年度より管理項目に追加
(累計値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	55	125	271	435	522	650	706	838	838	1,023	1,161	1,231
目標値	95	215	466	749	899	1,119	1,215	1,442	1,442	1,760	1,998	2,117
原単位実績値	96	181	239	310	448	567	672	734	809	921	992	1,029
目標値比	2%	-16%	-49%	-59%	-50%	-49%	-45%	-49%	-44%	-48%	-50%	-51%
結果	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。											
評価	1月で目標未達となったが、年間目標は達成した。											

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)の削減 基準年度比 14%削減

(累計値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年度値	16,824	35,066	50,369	65,447	78,120	90,519	109,891
目標値	14,469	30,157	43,317	56,284	67,183	77,846	94,506
実績値(原単位)	8,120	17,458	24,497	32,748	40,533	46,771	55,236
目標値比(累計)	-44%	-42%	-43%	-42%	-40%	-40%	-42%
結果	○	○	○	○	○	○	○

項目	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	129,601	146,703	163,958	178,677	194,735
目標値	111,457	126,165	141,004	153,662	167,472
実績値(原単位)	62,743	70,522	79,638	86,405	93,820
目標値比(累計)	-44%	-44%	-44%	-44%	-44%
結果	○	○	○	○	○
評価	年間を通して、単月、累積ともに目標を達成した。				

電力の二酸化炭素排出係数 : 0.374 kg-CO₂/kWh (基準年度)
 0.452 kg-CO₂/kWh (2024年度)

2. 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 目標：一般廃棄物分別の徹底と使用量削減。

基準値：一般廃棄物 2,400kg (2013年基準) 2024年度目標：11%削減

(累計値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	目標	結果
一般廃棄物	21	51	72	105	138	155	179	205	228	258	279	310	2,136	○
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。													
評価	段ボール、雑誌を2023年度からの取組としてリサイクル(有価物)としての売却に変更することを継続して進めている。													

2) 目標：産業廃棄物分別の月定と使用量削減

基準値：基準年度比6%削減

(基準年度実績合計2018年:21,611kg 2020年目標値見直し:22,118kg:累積値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価	
汚泥	目標値	0.66	1.32	1.97	2.63	3.29	3.95	4.61	5.26	5.92	6.58	7.24	7.90	○
	実績値(原単位)	0.00	0.00	0.00	2.71	2.71	2.71	2.71	2.71	4.83	4.83	4.83	4.83	
廃油	目標値	16.0	32.0	47.9	63.9	79.9	95.9	111.9	127.8	143.8	159.8	175.8	191.8	○
	実績値(原単位)	0.0	0.0	0.0	53.5	53.5	53.5	53.5	53.5	87.6	87.6	87.6	87.6	
混合廃棄物	目標値	12.2	24.4	36.7	48.9	61.1	73.3	85.5	97.8	110.0	122.2	134.4	146.6	×
	実績値(原単位)	8.0	147.9	147.9	158.4	158.4	169.0	179.8	179.8	179.8	191.1	370.1	370.1	
廃プラスチック類	目標値	592	1,184	1,777	2,369	2,961	3,553	4,145	4,738	5,330	5,922	6,514	7,106	○
	実績値(原単位)	377	377	377	1,153	1,153	1,726	2,589	2,589	2,589	3,382	3,382	3,382	
木くず	目標値	1,089	2,179	3,268	4,358	5,447	6,537	7,626	8,716	9,805	10,895	11,984	13,074	○
	実績値(原単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
引火性廃油	目標値	19.7	39.5	59.2	79.0	98.7	118.4	138.2	157.9	177.7	197.4	217.1	236.9	○
	実績値(原単位)	0.0	0.0	0.0	55.6	55.6	55.6	55.6	55.6	109.6	109.6	109.6	109.6	
引火性廃油(有害)	目標値	2.4	4.7	7.1	9.4	11.8	14.1	16.5	18.8	21.2	23.5	25.9	28.2	○
	実績値(原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	基準年度値	1,843	3,686	5,530	7,373	9,216	11,059	12,902	14,746	16,589	18,432	20,275	22,118	○
	目標値	1,733	3,465	5,198	6,930	8,663	10,396	12,128	13,861	15,593	17,326	19,059	20,791	
	実績値(原単位)	385	525	525	1,423	1,423	2,007	2,881	2,881	2,971	3,775	3,954	3,954	
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。													
評価	産業廃棄物全体では目標を達成したが、工場改築等による備品・在庫品保管量の見直し、レイアウト変更等により混合廃棄物の廃棄量増加のため、2月で年間目標値を超えてしまった。													

3. コピー用紙使用量の適切な管理

目標：コピー用紙購入量（枚）の削減 基準年度比 14%削減(A4 換算)

(基準値の設定： 年間 240,000 枚 / 2024 年度は基準値の 14%削減) (累計値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	20,000	40,000	60,000	80,000	100,000	120,000	140,000	160,000	180,000	200,000	220,000	240,000
目標値	17,200	34,400	51,600	68,800	86,000	103,200	120,400	137,600	154,800	172,000	189,200	206,400
実績値(原単位)	1,701	6,125	7,445	10,203	16,870	18,259	21,037	22,339	24,870	28,533	32,018	36,327
目標値比(累計)	-90%	-82%	-86%	-85%	-80%	-82%	-83%	-84%	-84%	-83%	-83%	-82%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	裏紙の利用、両面コピーの徹底、会議時のネットワーク情報の活用による、紙使用の低減など。											
評価	社内で使用する書類の低減を進める。具体的にはデータ保存、共有ファイル化、会議用資料の印刷を抑制、外注業者への図面印刷をデータ送付化に変更して印刷の抑制を進める。											

4. 水道使用量の適切な管理

取組項目：水道使用量（m³）の管理・抑制 基準値：600 m³/年、2024 年度 11%削減) (累計値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準値	50.0	100.0	150.0	200.0	250.0	300.0	350.0	400.0	450.0	500.0	550.0	600.0
目標値	44.5	89.0	133.5	178.0	222.5	267.0	311.5	356.0	400.5	445.0	489.5	534.0
実績値(原単位)	13.1	30.8	42.3	59.4	80.7	94.1	111.5	123.2	138.0	158.3	175.2	191.1
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	節水シールの貼付、トイレの排水/1回の減水継続。 月初の水道使用量を計測し、異常事態発生の監視継続中。											
評価	使用状況には異常値は認められない。2024 年度目標は達成した。											

5. 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

取組項目：化学物質の適切な管理、および有害化学物質使用停止。

(累計値)

取組項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
エタノール (kg)	28.4	14.2	0	14.2	0	0	14.2	0	14.2	14.2	0	28.4	127.8
パーツクリーナー(kg)	12.6	12.6	0	12.6	0	0	12.6	0	12.6	0	0	12.6	75.6
SU-55(kg)	23.76	0	0	11.88	0	0	0	0	11.88	0	0	11.88	59.4
活動内容	化学物質の管理適正化および使用量の抑制。代替品による有害化学物質の使用停止。												
評価	化学物質全般の購入量を管理しており、突発的な購入はないが今後事業拡大に伴う購入量の把握を進める。												

6. 製品・サービス

(累計値)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標 kg	53.4	53.4	53.4	53.4	53.4	53.4	53.4	53.4	53.4	53.4	53.4	53.4
目標累計	53.4	106.8	160.2	213.6	267.0	320.4	373.8	427.2	480.6	534.0	587.4	640.8
実績、原単位評価	21.9	52.3	57.6	77.3	104.0	107.0	129.0	137.4	161.9	199.0	216.9	226.6
原単位実績累計	-59%	-51%	-64%	-64%	-61%	-67%	-65%	-68%	-66%	-63%	-63%	-65%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	梱包材の購入量の計測、目標値の設定による使用量の抑制。											
評価	単月、及び累積で目標を達成した。											

目標：環境負荷の少ない梱包 目標値設定による使用量の抑制 (基準値：60kg/月、2024年度11%削減)

— 次年度（2025年度）以降の取組み内容 —

取組項目	次年度の取組み内容
(1) 二酸化炭素排出量の削減	
1) 電力使用量の削減	生産増加見込み → ピークデマンド管理 → 増加抑制。 設備更新時は省エネ設備を検討し導入する。
2) ガソリン使用量の削減	現在の活動を継続する。
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減	
1) 一般廃棄物の適切な管理	廃棄物の分別管理を基本とする現在の活動を継続する。
2) 産業廃棄物の適切な管理	
(3) コピー用紙購入量の削減	提出書類の電子化、両面コピーの徹底を継続し、目標達成できるよう活動を継続する。
(4) 水道使用量の適切な管理	現在の活動を継続し、進捗を確認しながら目標を達成する。
(5) 化学物質	化学物質購入量の管理を継続する。
(6) 環境負荷の少ない梱包	引き続き梱包材の使用量の適正化を図っていく。

— 環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟の有無 —

No	主要な法規	項目	確認内容	評価
1	廃棄物処理法	一般廃棄物	契約書の確認	○
		産業廃棄物	契約書の確認	○
			マニフェスト管理	○
		特別管理産業廃棄物	契約書の確認	○
マニフェスト管理	○			
2	フロン排出抑制法	第1種特定製品の廃棄	登録書、引渡書の確認	○
		第1種特定製品の簡易点検	点検記録の確認	○
		電動機定格出力 7.5kW 以上の第1種特定製品の定期点検	点検記録の確認	○
3	消防法	防火管理者、消防計画	提出済	○

環境関連法規等の遵守評価を行い、確認の結果、環境関連法規等に関する違反はありません。関係当局による指摘もありません。環境関連に関して苦情の発生・訴訟もありません。

— 代表者による全体評価と見直し記録 —

<p>評価</p>	<p>【環境活動全般について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年は、二酸化炭素排出量、一般廃棄物、コピー用紙購入量、水道使用量、梱包材購入量の目標を達成した。2023年より実施している段ボール、および雑誌・本類のリサイクルを目的とした買取りに変更して継続運用しており同様にプラスチックパレットもリサイクルを目的として産業廃棄物業者へリサイクル品（有価物）として売却し始めた。 ・一方、産業廃棄物は、全体の目標は達成したものの、個別では、混合廃棄物が大幅な目標未達となった。 要因としては、工場新築を含むレイアウトの変更、および備品・保管品・在庫品の保管量の見直しを行ったためである。 ・2025年は省エネ対策の一つとして既存照明機器からLED照明への切替えを計画している。また新規事業の取込みによる化学物資購入量の増加が見込まれ、化学物質の購入・保管の管理を強化する事が求められる。 <p>【前回審査時の指摘事項への取組結果】 前回審査時のA判定推奨事項は、以下の通り対応することを確認した。</p> <p>【A判定推奨事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システム組織図に田村工場を記載する事 ・環境への取組の重点分野を明確にする事 <p>【検討内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システム組織図に田村工場を記載済 ・2024年度環境経営方針にCo2排出量、廃棄物を主とした環境負荷の低減を明確にした。
<p>見直し</p>	<p>見直し（変更）が必要と判断した項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 環境経営方針の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 環境経営目標、環境経営計画の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input type="checkbox"/> 環境経営システム（マニュアル、運用手順等）の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input checked="" type="checkbox"/> その他、<u>推進委員会、事務局の組織の役割、環境管理責任者変更必要と判断しました。</u> <p>見直しの内容（改訂文書名、改定内容 等）</p>